

2025年8月14日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気※ 米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している

長野県内景気 足踏みの状態にある

5月の生産動向 生産は一進一退で推移

6月の個人消費 乗用車新車販売は6カ月連続で前年を上回る

6月の公共投資 公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る

6月の住宅投資 新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を下回る

6月の雇用情勢 有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

今後は、米国の通商政策の影響や、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びが安定的にプラスで推移していくかどうかを注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2025年7月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

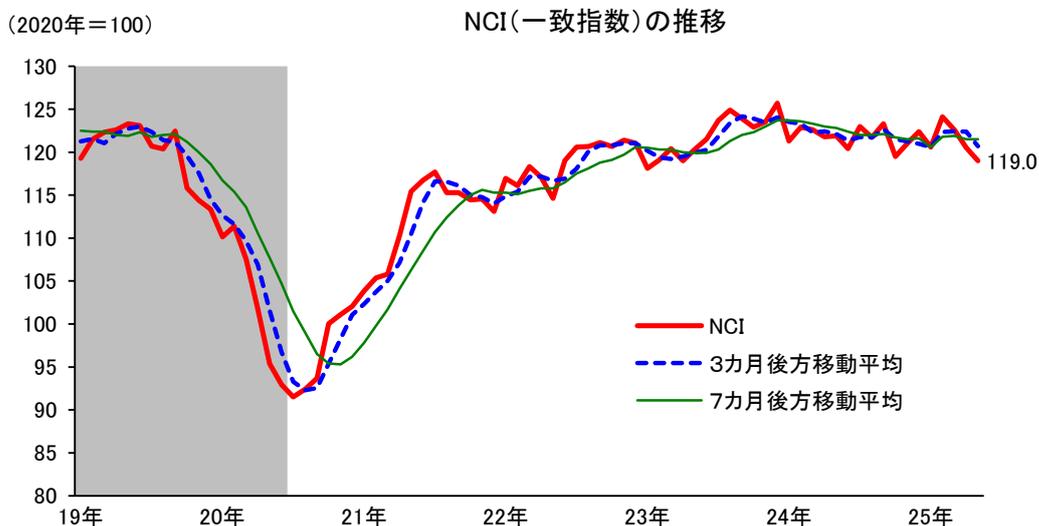
担当 桑井、須田

電話 026-224-0501



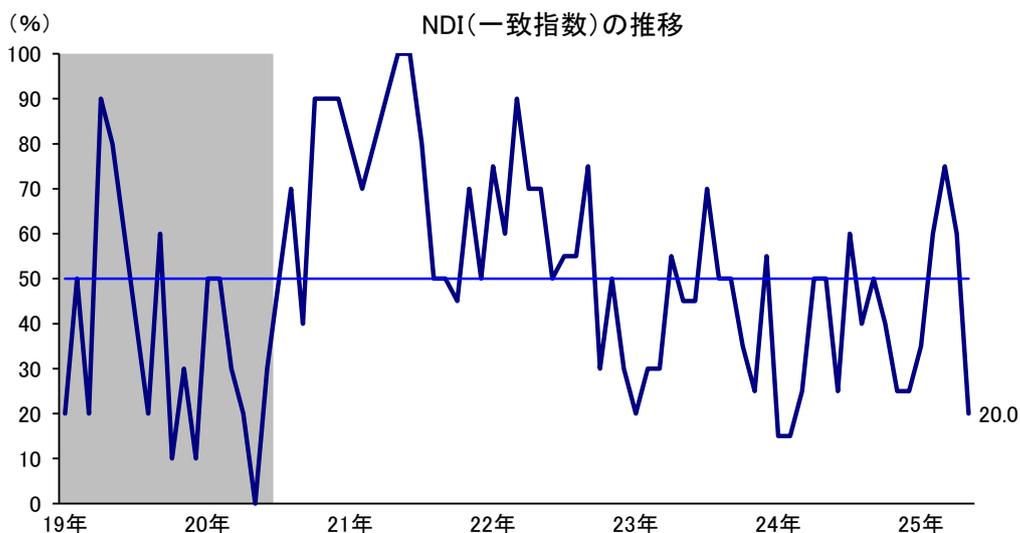
景気動向指数

- 5月のNCI(一致指数)は、119.0と前月と比較し△1.5ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△1.7ポイントと5カ月ぶりに低下した。7カ月後方移動平均は前月と変わらず横ばいとなった。NCI(一致指数)は、悪化を示している。
- NDI(一致指数)は、20.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を4カ月ぶりに下回った。



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

- (注) 1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

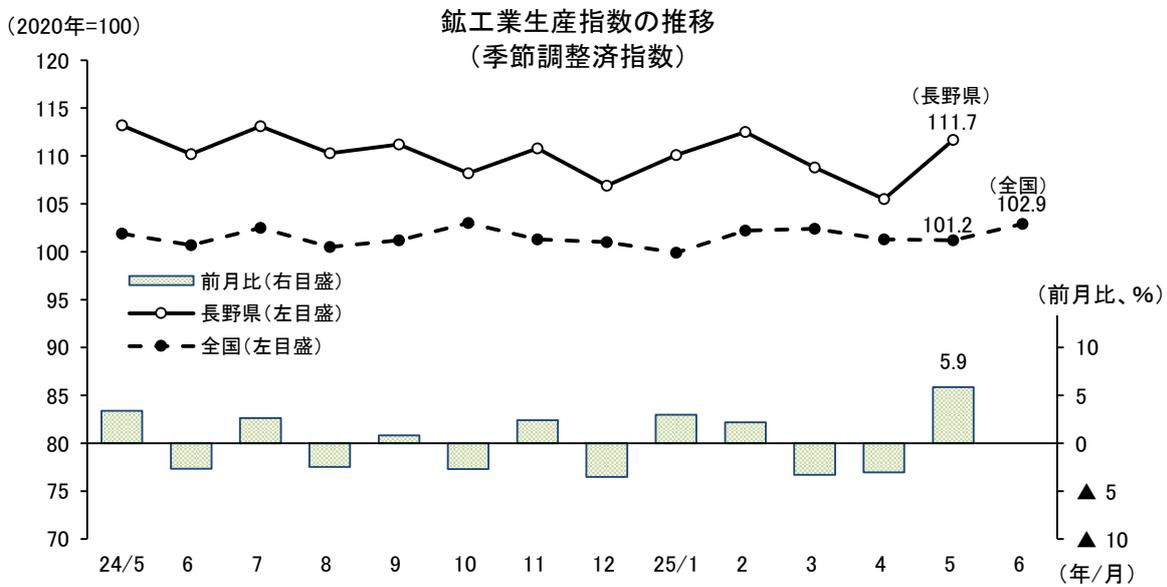
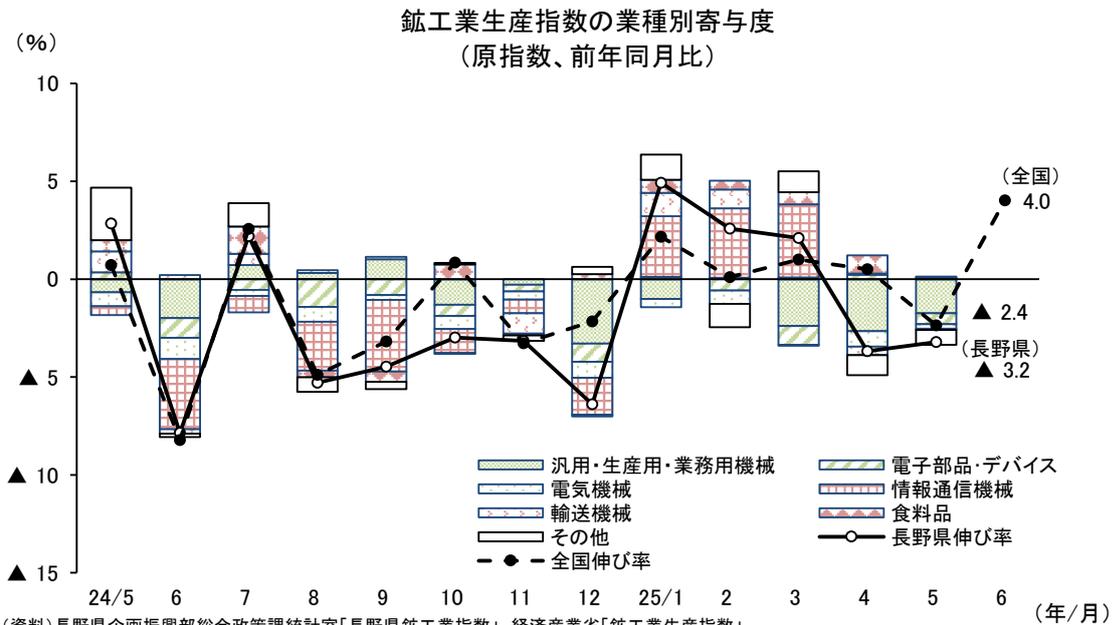


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

- (注) 1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

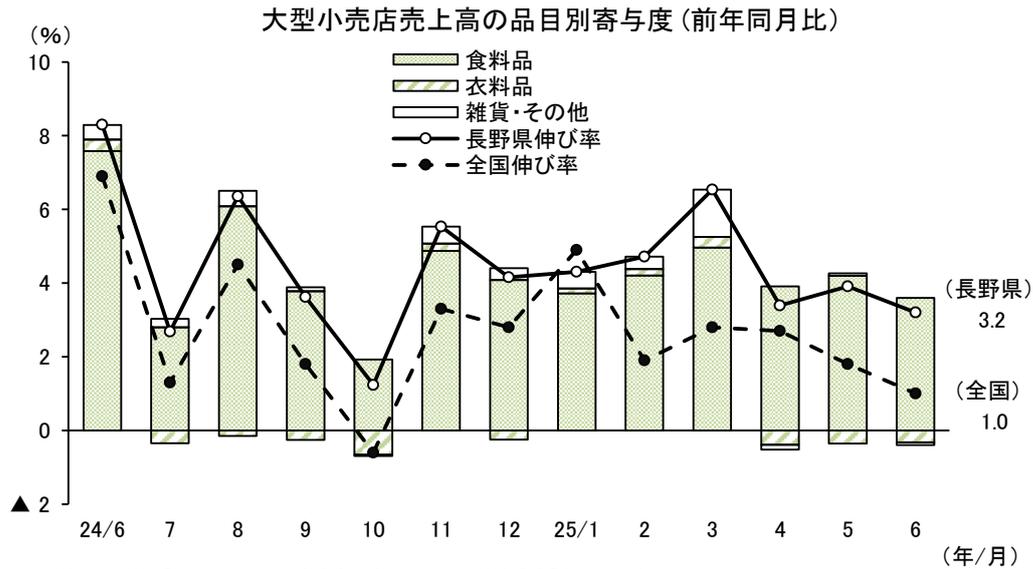
生産は一進一退で推移

- ・5月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△3.2%、季節調整済指数が前月比+5.9%となった。
- ・季節調整済指数は3カ月ぶりに前月を上回った一方、原指数は2カ月連続で前年を下回った。中国景気の低迷やIT関連需要が低調に推移する中、車載向けもこのところ回復の動きに一服感がみられることから、生産は一進一退で推移している。
- ・主要業種別に見ると、「輸送機械」「食料品」などが前年を上回ったものの、「汎用・生産用・業務用機械」「電子部品・デバイス」などが前年を下回った。

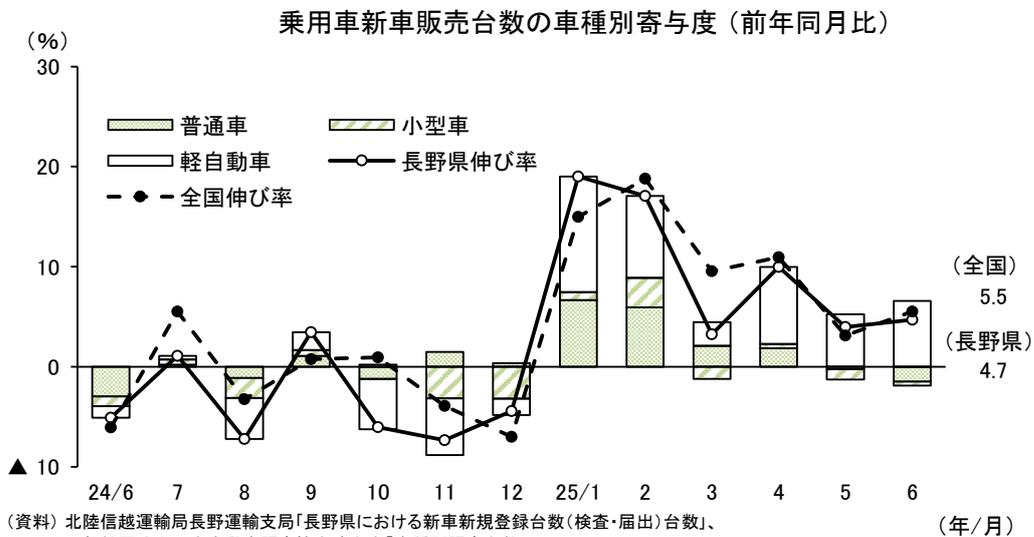


乗用車新車販売は6カ月連続で前年を上回る

- 6月の大型小売店売上高は、前年同月比+3.2%（売場面積調整前）となり、45カ月連続で前年を上回った。食料品は、コメや調味料等の販売価格の上昇などから、同+4.3%となったものの、衣料品は、季節衣料を中心に販売が低調で、同△7.6%となった。また、雑貨・その他も、涼感商品などの季節商材は堅調だったものの、ペット用品などが低調で、同△0.7%となった。
- 6月の乗用車新車販売は、人気車種でモデルチェンジがあったことなどから、前年同月比+4.7%と6カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同+15.7%と6カ月連続で前年を上回った一方、普通車は同△3.9%、小型車は同△1.9%といずれも2カ月連続で前年を下回った。



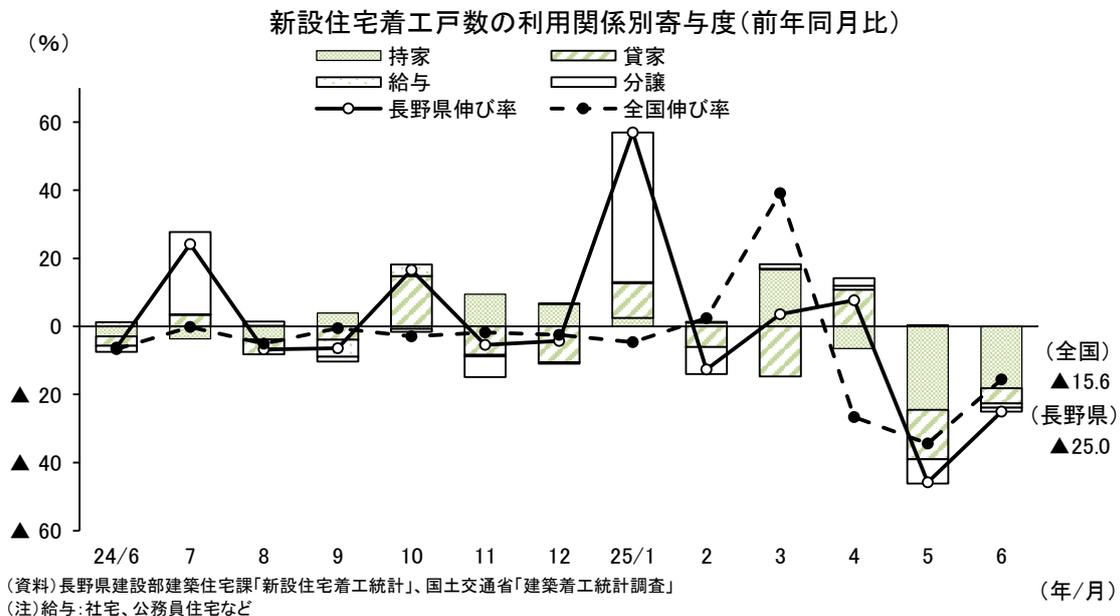
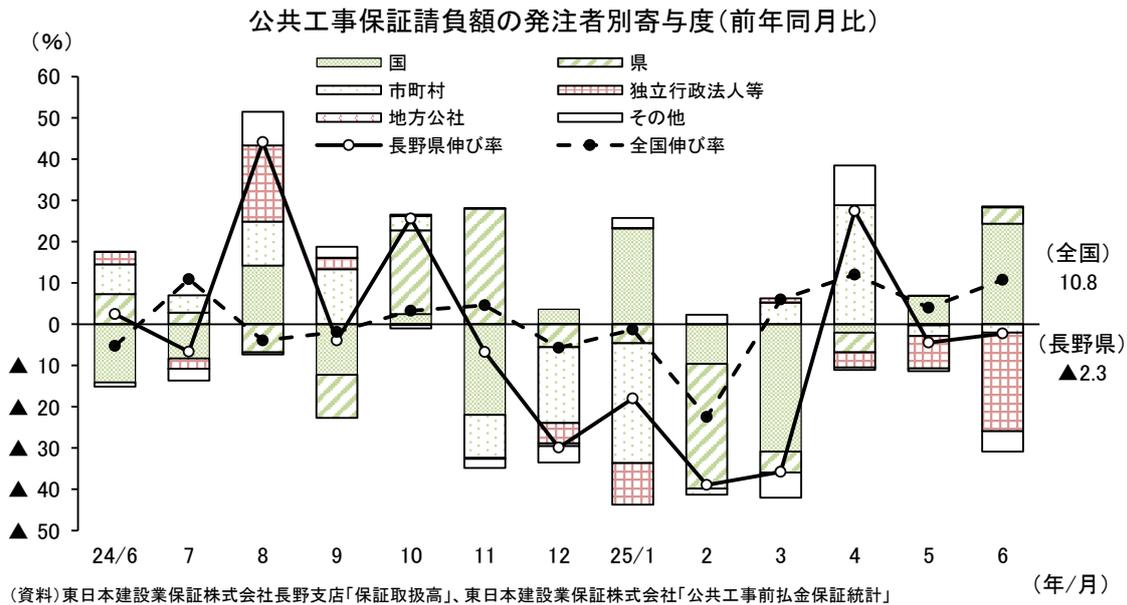
（資料）当研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」、経済産業省「商業動態統計」
（注）全国伸び率：25年6月分は速報値



（資料）北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数（検査・届出）台数」、
一般社団法人日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」、
一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売台数確報」
（注）普通車：3ナンバー車、小型車・軽自動車：5ナンバー車

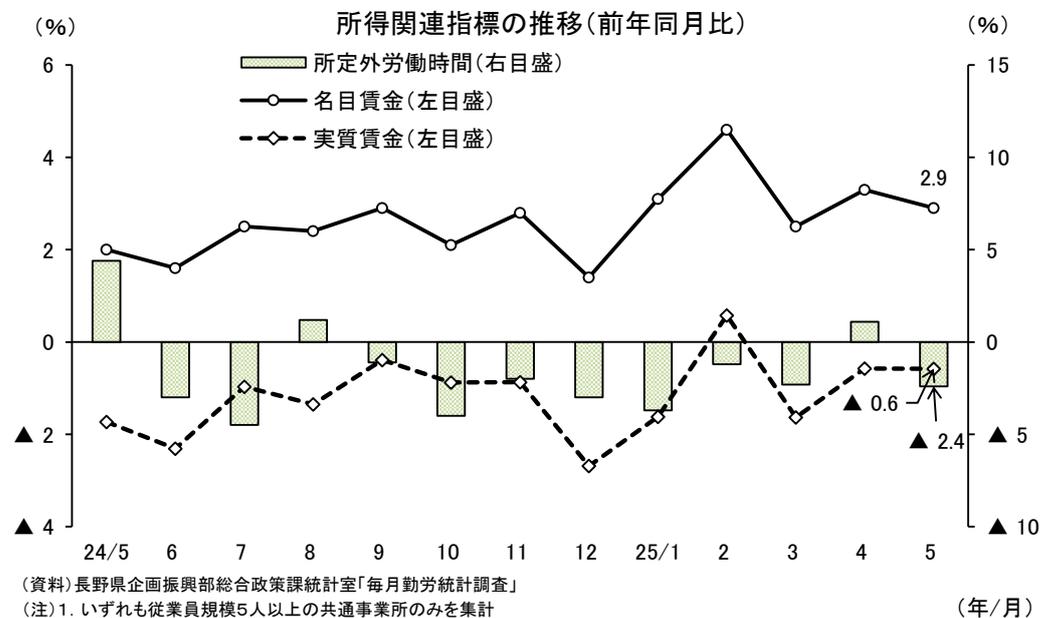
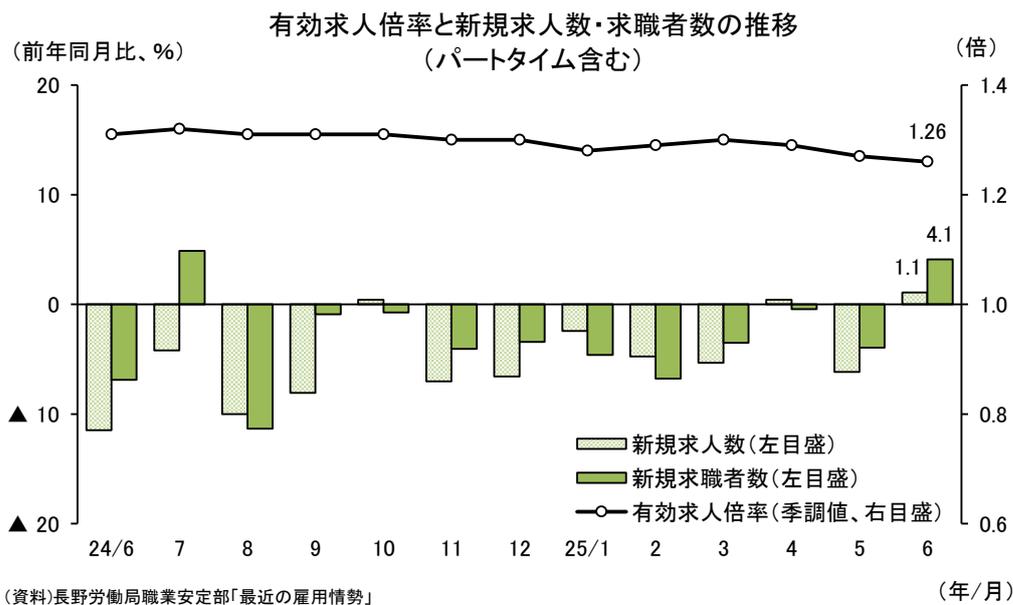
公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る

- 6月の公共工事保証請負額は、前年同月比△2.3%の242億9,000万円となり、2カ月連続で前年を下回った。発注者別にみると、国が同+128.8%、県が同+23.3%、地方公社が同+94.4%と増加したものの、市町村が同△5.9%、独立行政法人等が同△96.5%、その他が同△90.8%と減少した。
- 6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△25.0%の746戸と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同△32.8%、貸家が同△13.7%、給与が同△86.7%、分譲が同△10.3%といずれも減少した。



有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

- 6月の有効求人倍率は、前月比△0.01ポイントの1.26倍となり、3カ月連続で前月を下回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比+1.1%となり、2カ月ぶりに前年を上回った。このうち常用は同+1.4%、パートは同+3.0%となった。主要産業別では、卸売業・小売業が同+7.4%、製造業が同+0.9%、建設業が同+0.4%となるなど6産業は前年を上回ったが、サービス業が同△4.2%、情報通信業が同△9.2%となるなど7産業は前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比+4.1%と11カ月ぶりに前年を上回った。
- 5月の名目賃金は前年同月比+2.9%と49カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△0.6%と3カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は△2.4%と2カ月ぶりに前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は4地域いずれも前年を下回る

- ・6月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.10ポイントの1.12倍、東信が同△0.04ポイントの1.21倍、中信が同△0.02ポイントの1.24倍、南信が同△0.03ポイントの1.21倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯田が1.31倍と最も高く、次いで木曾福島が1.28倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は57カ月連続で全国を上回り、順位は前月から2つ上げ19位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(25年6月)

地域	北 信(1.12) (前年同月比▲0.10)				東 信(1.21) (前年同月比▲0.04)		中 信(1.24) (前年同月比▲0.02)			南 信(1.21) (前年同月比▲0.03)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.17	1.03	1.07	1.18	1.15	1.27	1.25	1.28	1.13	1.31	1.12	1.21
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.10	▲ 0.17	▲ 0.02	0.01	▲ 0.07	▲ 0.02	0.00	▲ 0.05	▲ 0.15	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.04
うち常用	1.06	1.00	1.02	1.05	1.09	1.24	1.15	1.23	1.07	1.25	1.00	1.13
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.09	▲ 0.16	0.01	▲ 0.01	▲ 0.05	▲ 0.01	0.02	0.03	▲ 0.16	▲ 0.01	0.00	▲ 0.04

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

